

報道関係者各位

2022 年 1 月 10 日株式会社エデューレエルシーエー(LCA 国際小学校)

徳島県(海陽町)にサテライトスクールを開設

LCA 国際小学校を運営する株式会社エデューレエルシーエー (神奈川県相模原市緑区橋本台 3·7·1 代表取締役/学園長:山口紀生) は、コワーキングセンター城山荘(徳島県海部郡海陽町大里字北山下 4 番地 1) にサテライトオフィスを令和 3 年 9 月 7 日に開設し、令和 4 年 1 月 10 日よりサテライトスクール事業を開始いたしました。



LCA 国際小学校は、児童一人ひとりの個性を大切にする教育の実現を目指して 1985年に設立した私塾が始まりです。その後に、英会話スクール、幼児教室、インターナショナルプリスクールを経て、2005年に小学部を創設。2008年に構造改革特区制度を利用し、日本初の株式会社立の小学校として、文部科学省に認可されました。

文部科学省の国際教育特例校として、学習指導要領に則った授業を英語で行うことが特徴で、担任にEnglish Teacher、副担任に日本人教諭を配置し、バイリンガル教育を行っています。1クラス 20 人程度の少人数学級制で、現在約 300 人の児童が在籍しています。

【開設の経緯】

2021 年、今井洋介 副校長(当時。2022 年度~参与。学校イノベーション推進統括)の強い思いから始まりました。VUCA とも言われる先行きが不透明で、将来の予測が困難なこの時代において、未来を生きる子どもたちに育むべき力とは何か、学校の役割とは何かを考える中、それぞれの自己肯定感を育みながら Well-being を実現を目指

すために学校にできることの一つとして、サテライトスクールを着想するに至りました。

コロナを契機に一気に ICT 教育を推進した LCA 国際小学校では、授業の全てを教室でも自宅でも受けられる環境を実現しました。

ポストコロナ、GIGA スクール構想のその先に描く学校教育の在り方について思索を深めるなか、「場所に囚われない学び方」「オンラインでも学校でも得られない学びの実現」「家族と学校と地域との連携」「都会と地方の新しい関係」などに着目した「新たな学校のカタチ」を構想し、一般社団法人ミライの学校(徳島県海部郡美波町日和佐浦114/代表理事:高畑拓弥)と連携しながら、海陽町を舞台に調査・実証をスタート。同年9月にサテライトスクールとしての運用を目的に、コワーキングセンター城山荘にサテライトオフィスを開設しました。

【サテライトスクールとは】

通常授業の期間中に家族で地方を訪れることを学校が推奨し、子どもたちは日中はオンラインで通常授業を受け、休み時間や放課後は地方ならではの体験活動や、地域の方々と一緒に活動をしたり交流を行ったりすることで、都市部などでは得られない経験を得ることができます。

LCA 国際小学校と一般社団法人ミライの学校が創出・提案する「新しい学校のカタチ」です。



【事業内容】

LCA 国際小学校サテライトスクールの運営

【企業概要】

<企業名> 株式会社エデューレエルシーエー(EDURE LCA Co., Ltd.)

<設立年月日> 平成3年(1991年)3月15日

<本社所在地> 〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台 3-7-1

<事業内容> 学校運営事業・英語教育事業・LCA 国際小学校サテライトスクール

<会社 URL> https://elementary.lca.ed.jp/

<徳島サテライトスクール所在地>

〒775-0295 徳島県海部郡海陽町大里字北山下4番地1(コワーキングセンター城山荘)

本プレスリリースに関する問合せ先: (学校イノベーション推進担当:川原裕貴) TEL 042-771-6131 E-mail yuki.kawahara@lca.ed.jp